



関東地区高等学校PTA連合会 神奈川大会 1日目 2017/7/7

7月7日(金)・7月8日(土)の2日間、第63回関東地区高等学校PTA連合会大会神奈川大会が、パシフィコ横浜国立大ホールを中心とした施設で開催されました。本校からは、PTA副会長、PTA書記、教頭の3名が参加しました。

今回の神奈川大会は、「心ふれあう しなやかな人づくり ～学び行動するPTA～」をメインテーマに、関東地区(東京都を除く)6県の各高等学校からPTA役員及び職員が約4,500名参加し盛大に開催されました。

7日の全体会では、地元神奈川の高校生の吹奏楽演奏等による歓迎セレモニーで幕が開きました。午後からは、フリーアナウンサーの羽鳥慎一氏による「聞くちから、話すちから」という演題の記念講演がありました。講演は、インタビュー形式で行われ、羽鳥氏の魅力に迫るものでした。講演の前半40分は、羽鳥氏の高校時代の経験、アナウンサーになったきっかけ、局アナウンサー時代のこと、フリーアナウンサーになったきっかけと現在についての話でした。羽鳥氏は、「一緒に働いている人は仲間である。言葉は爆発力である。みんなでやっている思いで、偉そうにしているといけない。」と語り、羽鳥氏の人柄を垣間見ました。開始40分後に、本題に入り、司会から出された「メールでしゃべらない社会とは」「影響を受けた言葉は何か」「どうしたら納得できる話し方ができるのか」「自己表現の仕方は」「相手に印象を持ってもらえるためには」という質問に答える形で進み、あっという間の70分の講演でした。

「影響を受けた言葉は何か」という質問で、羽鳥氏は「アナウンサーとして話す基本は、人の話を聞くこと(聞く力)であり、人の話を聞いて、話をつなげていくことである。」と、局アナ時代の大先輩である徳光和夫氏から学んだと語りました。徳光さんレベルだと、30分間で質問は1つ。聴くと疑問がわき、話をつなげていけるそうです。



地元高校生による
吹奏楽の演奏時の様子



羽鳥慎一氏の
記念講演時の様子



関東地区高等学校PTA連合会 神奈川大会 2日目 2017/7/8

7月8日(土)の2日目は、パシフィコ横浜で開催された第2分科会『進路指導とPTA』にPTA副会長、PTA書記、教頭の3名で参加しました。

第2分科会では、2つの高校から各校でのPTAによる取組に関する事例の発表がありました。1校目は、栃木県日光市にある男女共学の総合学科高校の前PTA会長さんから「保護者の支援する進路指導、保護者も学ぶ進路指導」というテーマで発表がありました。2校目は、山梨県北杜市にある男女共学の総合学科と普通科を併設している総合制高校のPTA会長さんから「ふるさとの再発見」というテーマで発表がありました。開場からは、各校での取り組みに対して多くの質問が寄せられ、積極的な情報交換の場となりました。



第2分科会時の様子